

高校生米食PR

阪急三番街

神戸市灘区の松蔭高校の3年生有志46人が20日、大阪市北区の商業施設・阪急三番街で、米食を呼び掛けるキャンペーンを行った。

環境をテーマにした課外授業「ブルーアースプロジェクト」の一環。国産米を食

べて食料自給率を上げることで、輸送時に出る二酸化炭素（CO₂）が削減できることなどを演劇やコンサートを通じて買い物客らにPRした。

演劇では、「輸入に伴うCO₂が温暖化の一因になっている」「コメを食べる人が減っているために水田も減って、絶滅しかけている

生物がいる」などのセリフを織り交ぜて、米食が環境にやさしいことを訴えた。

また、同施設の飲食店34店舗もこのプロジェクトに賛同。1日限定で減農薬米を使ったり、ライスコロツケなどの独自メニューを提供したりした。